

「横浜の緑に関する土地所有者意識調査」の結果について

1 調査の対象

(1) 樹林地所有者

4,407人（一筆500㎡以上の山林所有者）

(2) 農地所有者

5,631人（1,000㎡以上の農地所有者）

2 実施期間

(1) 発送日：令和4年6月13日（月）

(2) 回答期限：令和4年6月28日（火）

3 回収数

(1) 樹林地所有者

1,693票（回収率38.4%）

(2) 農地所有者

2,352票（回収率41.7%）

※集計作業の事務手続き上、7月15日までに到着した調査票を有効票として集計しました。

4 集計結果の見方

- ① 図（グラフ）の中で使用されているアルファベットnは、その設問に対する回答者数をあらわします。
- ② 回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出しています。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合があります。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。

※概要数値の見方

数値はそれぞれ割合（%）を表示。基数の記述があるもの以外は有効回収数を基本としています。

樹林地所有者（n=1,693）、農地所有者（n=2,352）

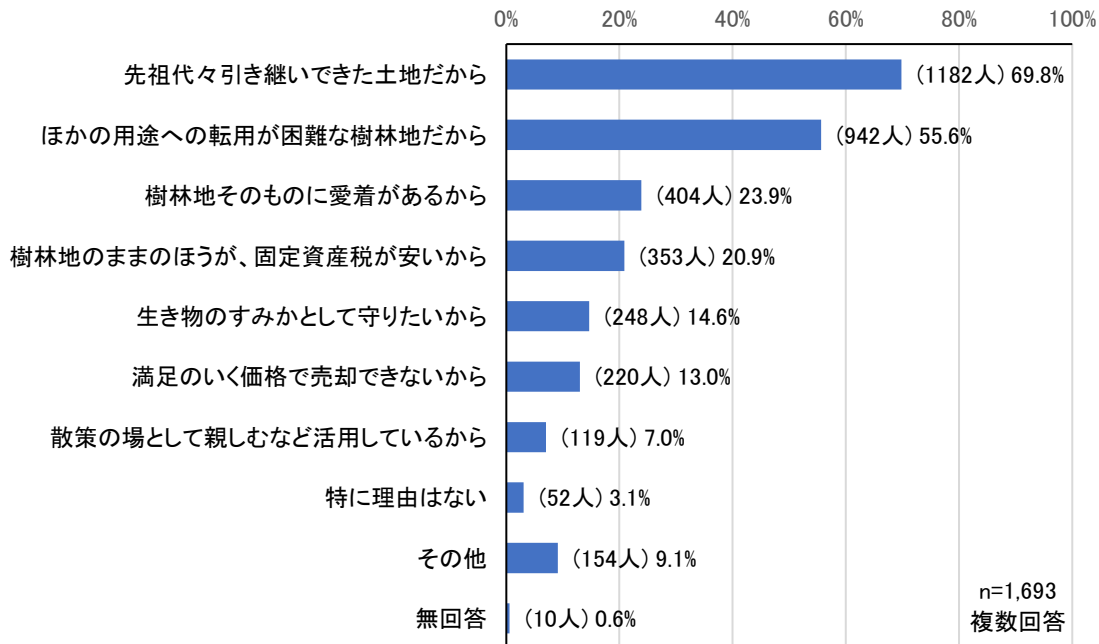
集計結果

(1) 樹林地所有者

問 1

あなたが所有する樹林地について、これまで樹林地のまま残してきた理由は何ですか。 【複数回答可】

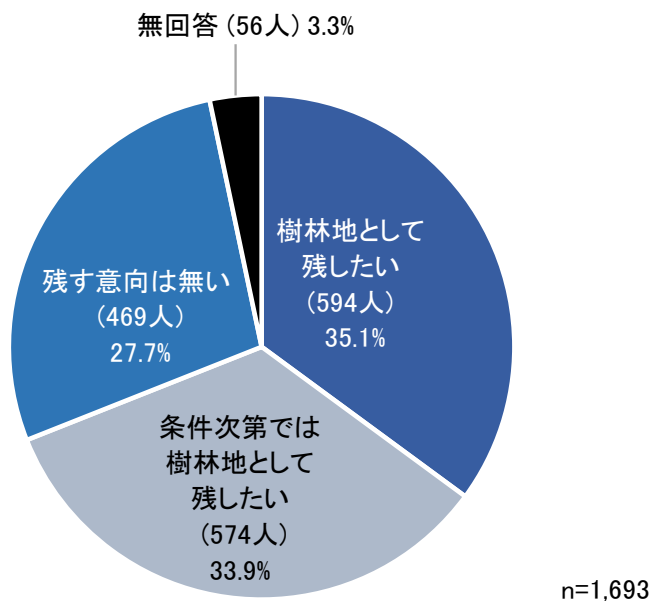
「先祖代々引き継いできた土地だから」が最も多い回答(約 70%)でした。



問 2

あなたは、所有する樹林地を今後も樹林地として残していきたいですか。

「樹林地として残したい」が最も多い回答(約 35%)でした。

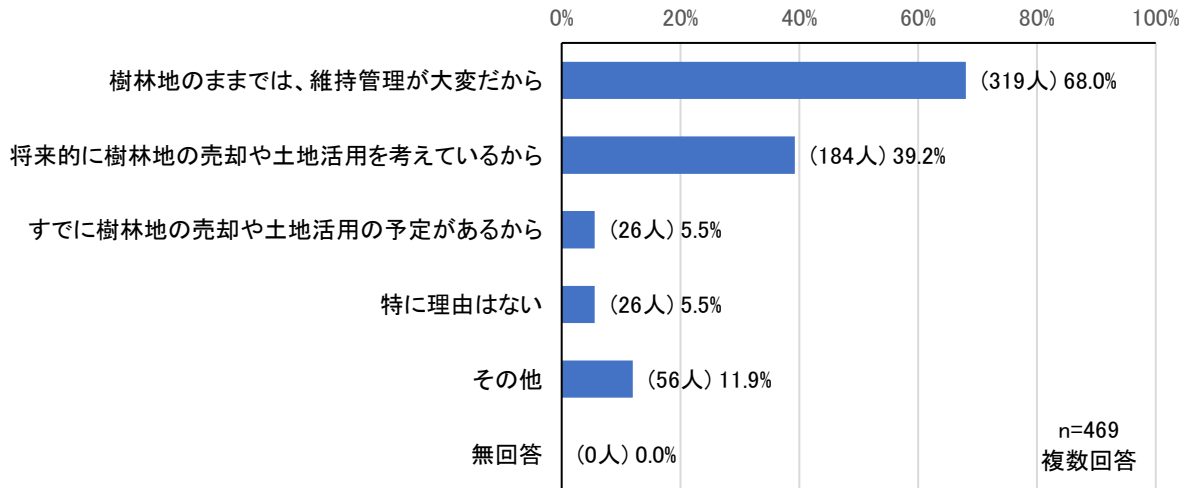


問3

問2で『残す意向は無い』と回答した方へお聞きします。

樹林地として残す意向が無い理由は何ですか。 【複数回答可】

「樹林地のままでは、維持管理が大変だから」が最も多い回答(約68%)でした。

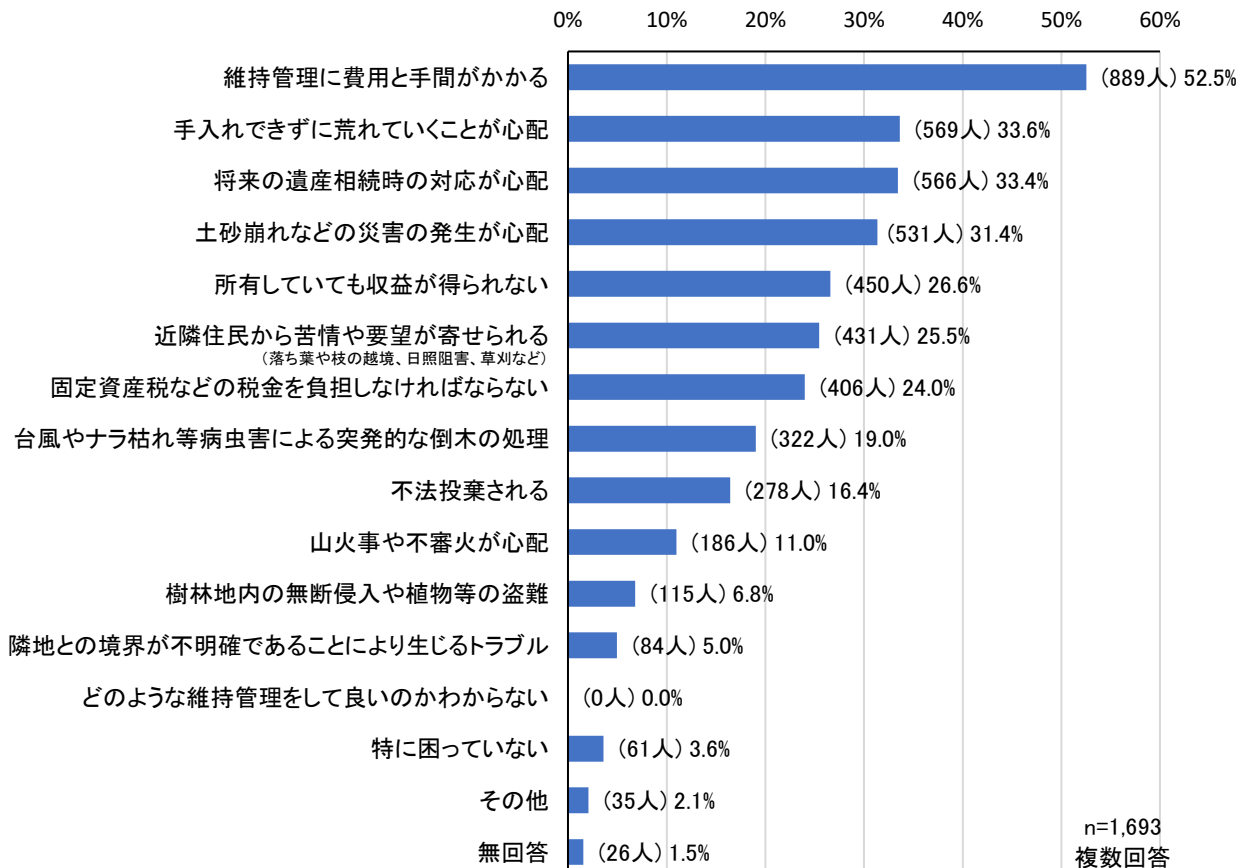


問4

樹林地を所有するうえで困っていると感じていることは何ですか。

【3つまで回答可】

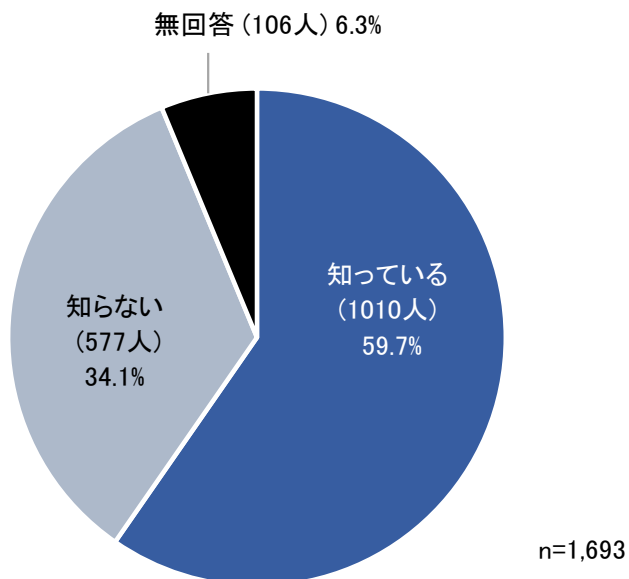
「維持管理に費用と手間がかかる」が最も多い回答(約53%)でした。



問5

横浜市がおこなっている緑地保全制度について、知っていますか。

「知っている」が最も多い回答(約60%)でした。

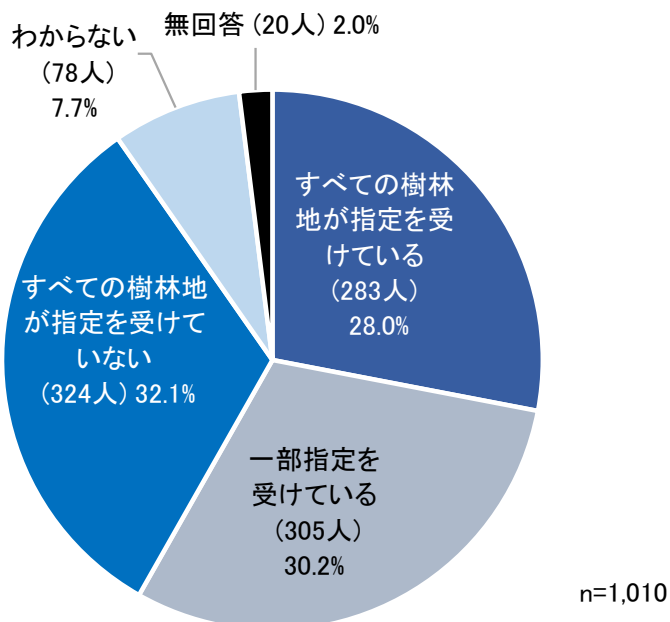


問6

問5で『知っている』と回答した方へお聞きします。

あなたが所有する樹林地の緑地保全制度の指定状況はどれですか。

「指定を受けている」という回答(「すべての樹林地が指定を受けている」と「一部指定を受けている」を合算)が約58%でした。

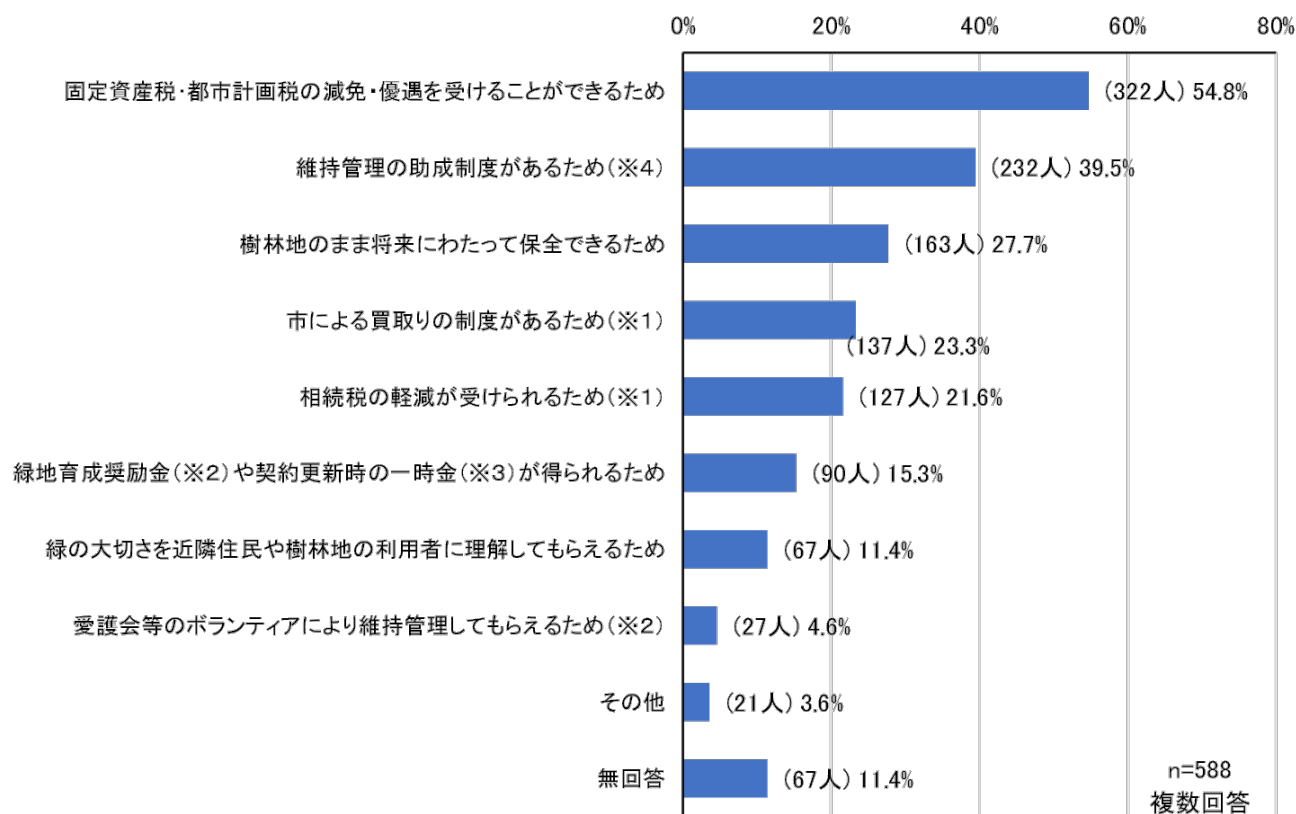


問7

問6で『すべての樹林地が指定を受けている』または、『一部指定を受けている』と回答した方へお聞きします。

樹林地の指定を受けた理由は何ですか。 【3つまで回答可】

「固定資産税・都市計画税の減免・優遇を受けることができるため」が最も多い回答(約55%)でした。



※1：特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区に指定された樹林地が対象

※2：市民の森に指定された樹林地が対象

※3：市民の森・緑地保存地区・源流の森保存地区に指定された樹林地が対象

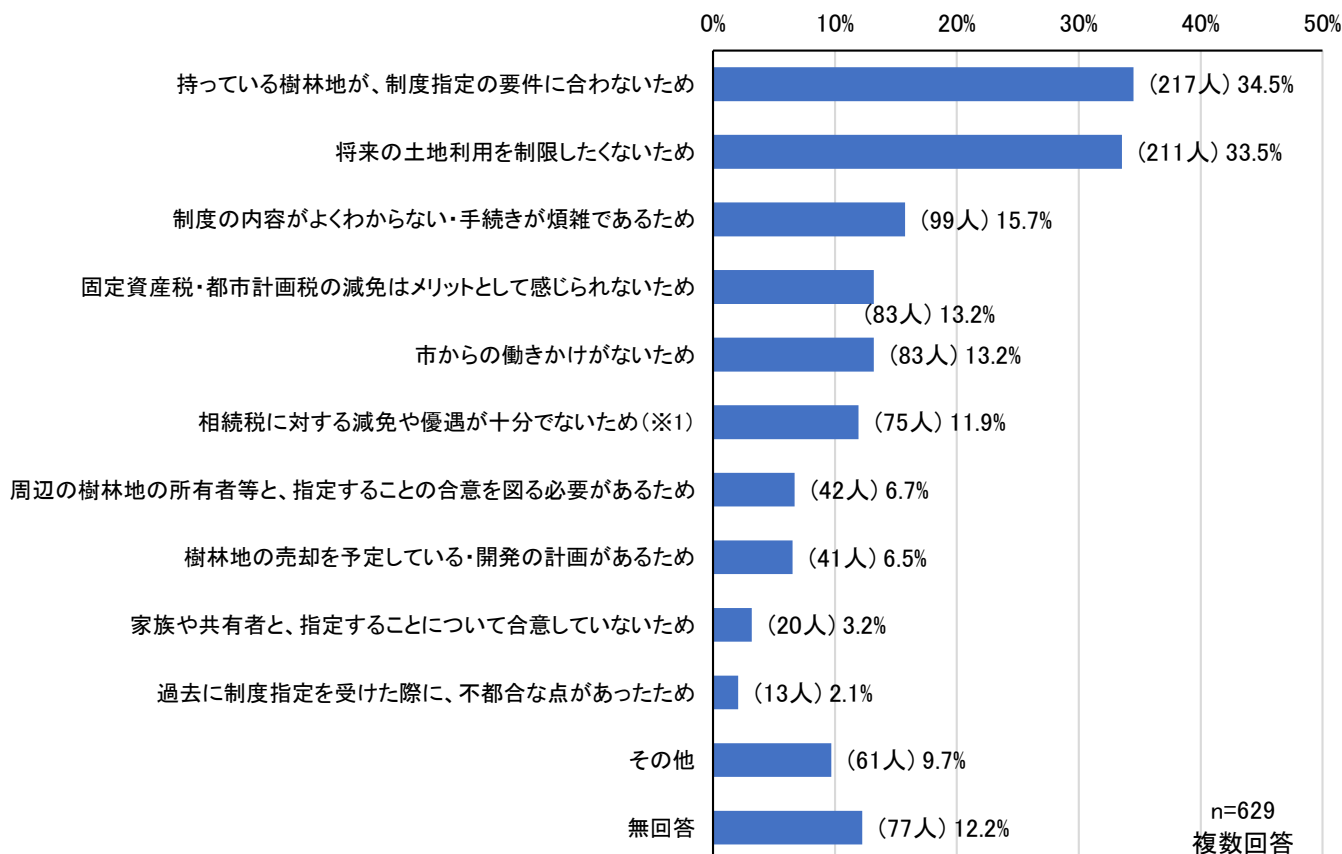
※4：特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区・緑地保存地区・源流の森保存地区に指定された樹林地が対象

問 8

問6で『一部指定を受けている』または、『すべての樹林地が指定を受けていない』と回答した方へお聞きします。

樹林地の指定を受けない（受けられない）理由は何ですか。【3つまで回答可】

「持っている樹林地が、制度指定の要件に合わないため」が最も多い回答（約33%）でした。

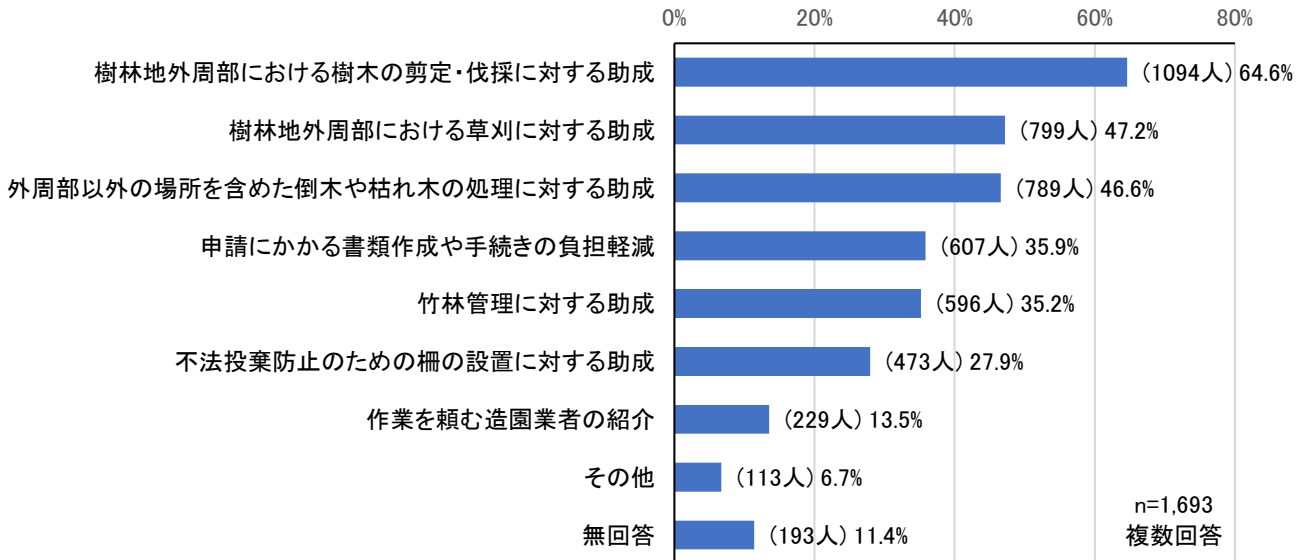


※1：特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区に指定された樹林地が対象

問 9

横浜市がおこなっている緑地保全制度に指定された樹林地に対する維管理費用の助成について、どのような支援が充実していれば指定しても良い、または指定を続けようと考えますか。 【複数回答可】

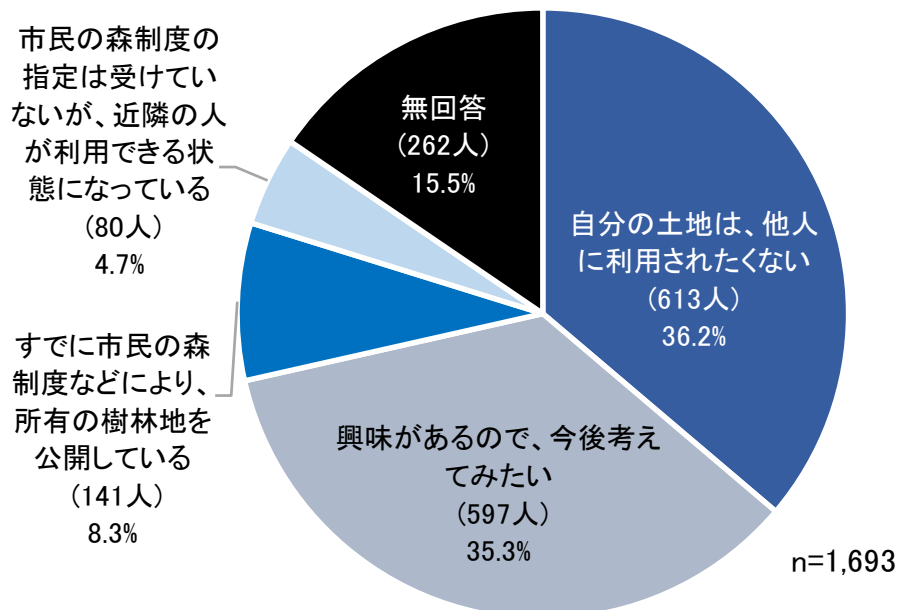
「樹林地外周部における樹木の剪定・伐採に対する助成」が最も多い回答(約 65%)でした。



問 10

横浜市では、所有者の方が土地を所有しながら、樹林地を公開し、市民の方に利用していただく「市民の森制度」があります。制度の指定を受けると、税の軽減が受けられるほか、緑地を維持するための奨励金が交付されます。所有する樹林地を公開することについて、どのようにお考えですか。

「自分の土地は、他人に利用されたくない」が最も多い回答(約 36%)でした。

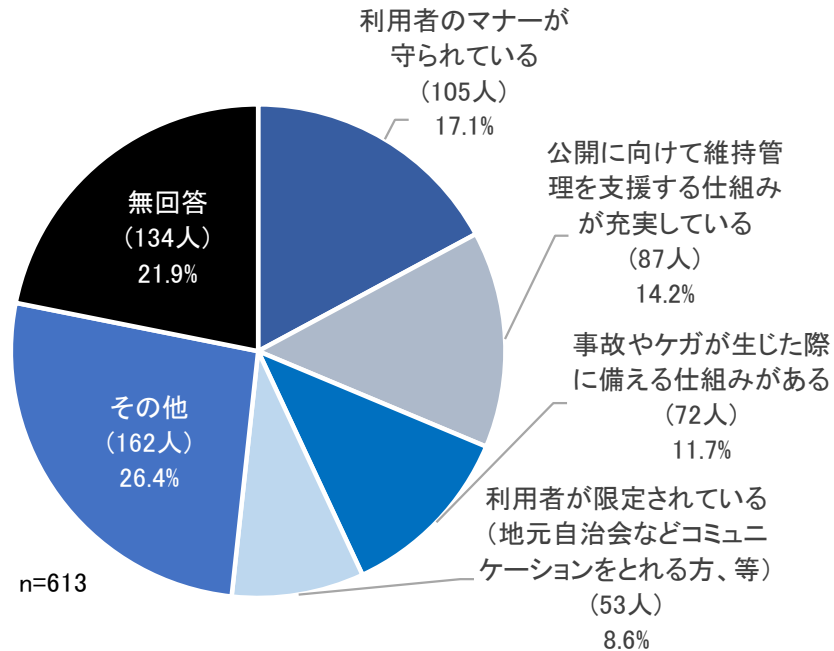


問 11

問 10 で『自分の土地は、他人に利用されたくない』と回答した方へお聞きします。

公開を検討するきっかけになるものはありますか。

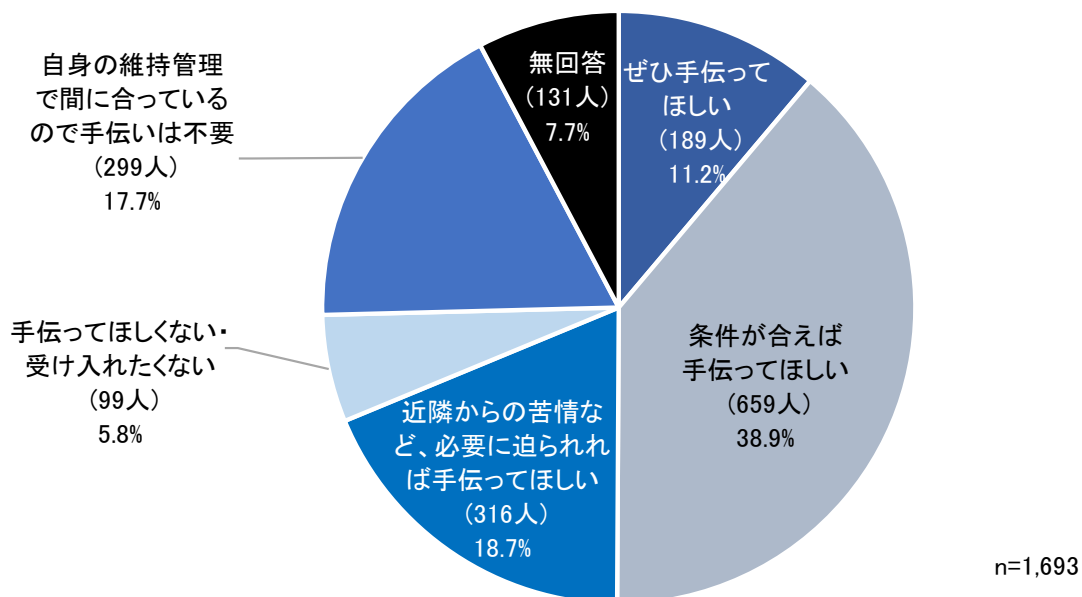
「利用者のマナーが守られている」が最も多い回答(約 17%)でした。



問 12

あなたが所有している樹林地の維持管理を、ボランティアの人または団体に手伝ってもらうことについて、どのようにお考えですか。

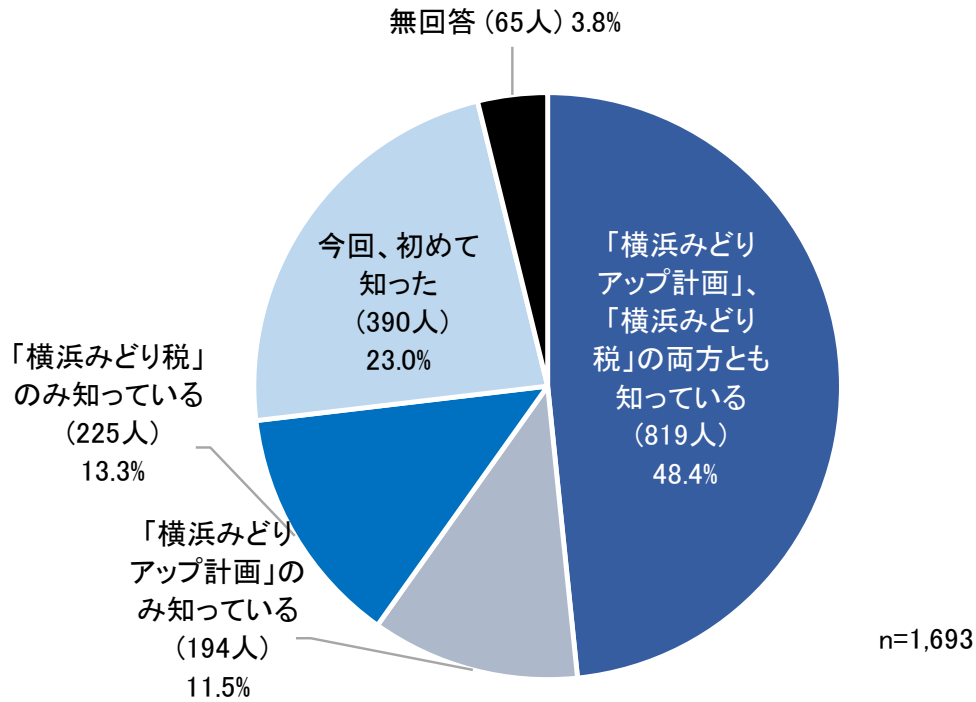
「条件が合えば手伝ってほしい」が最も多い回答(約 39%)でした。



問 13

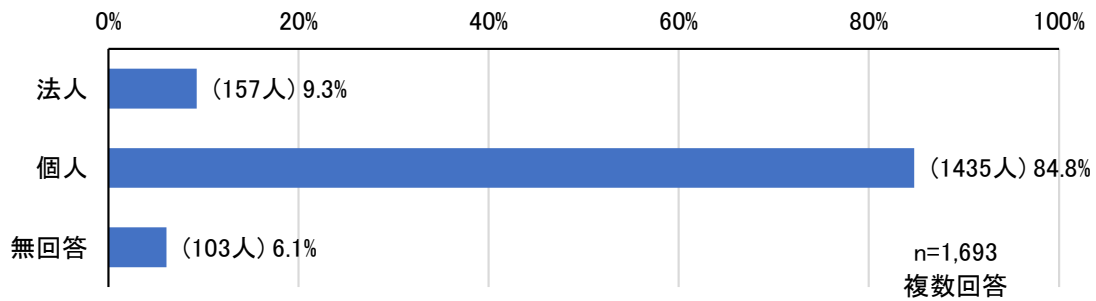
横浜市では、緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を一部財源として活用しながら、「横浜みどりアップ計画」を進めています。あなたはこのことについて知っていますか。

『「横浜みどりアップ計画」、「横浜みどり税」の両方とも知っている』が最も多い回答(約 48%)でした。

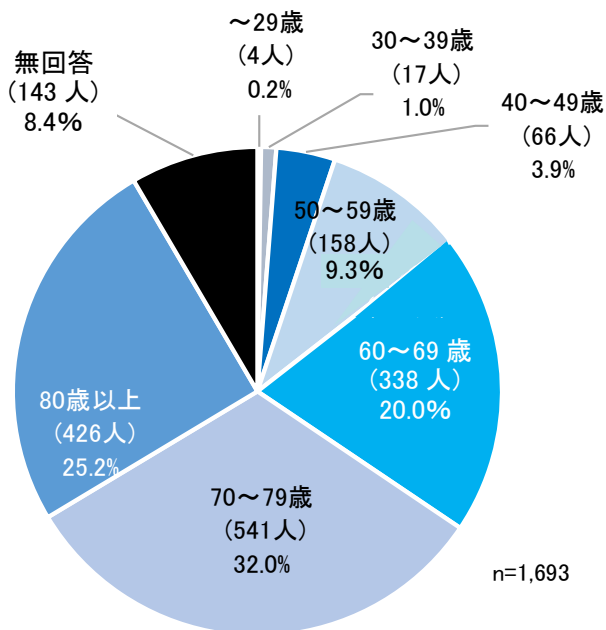


回答者属性

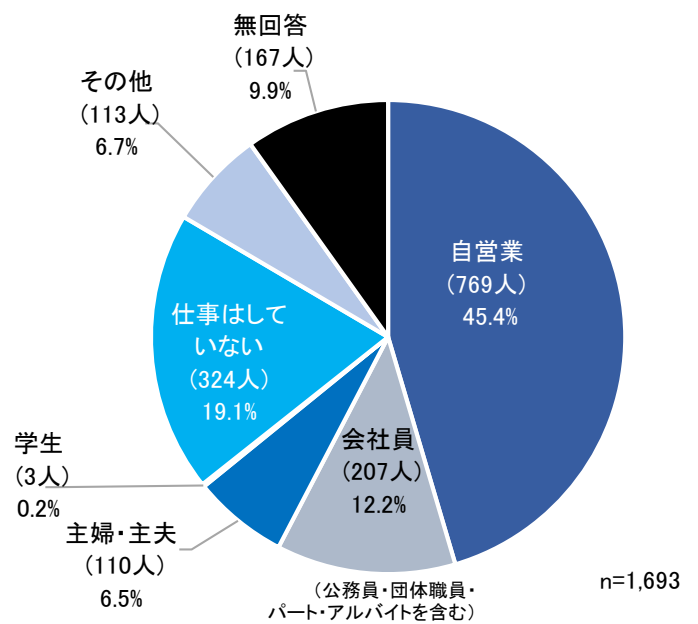
① 個人・法人区分 【複数回答可】



② 年齢

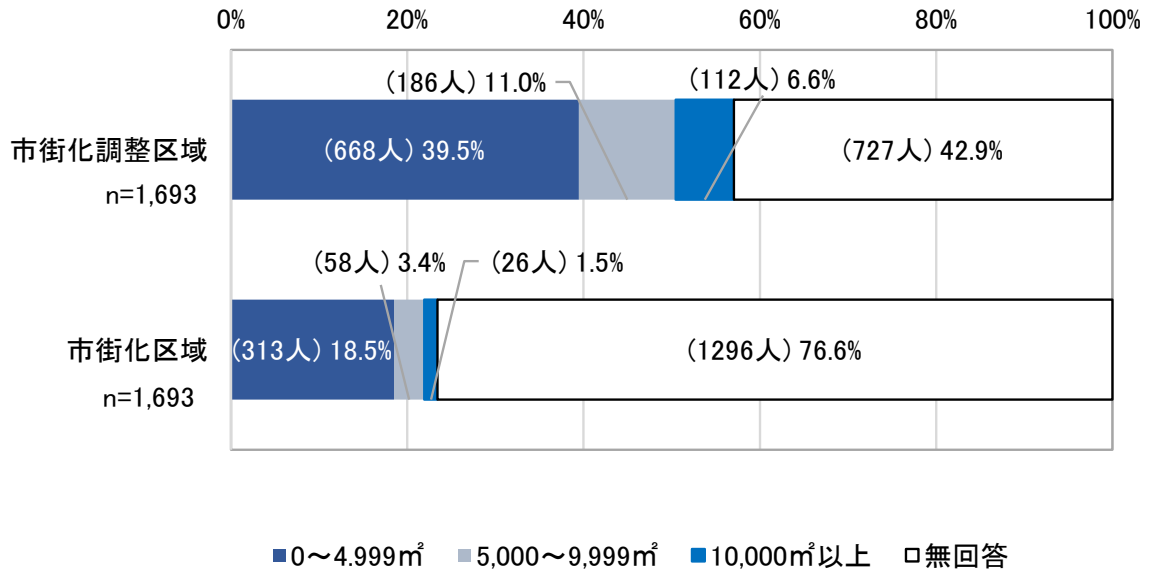


③ 就業状況



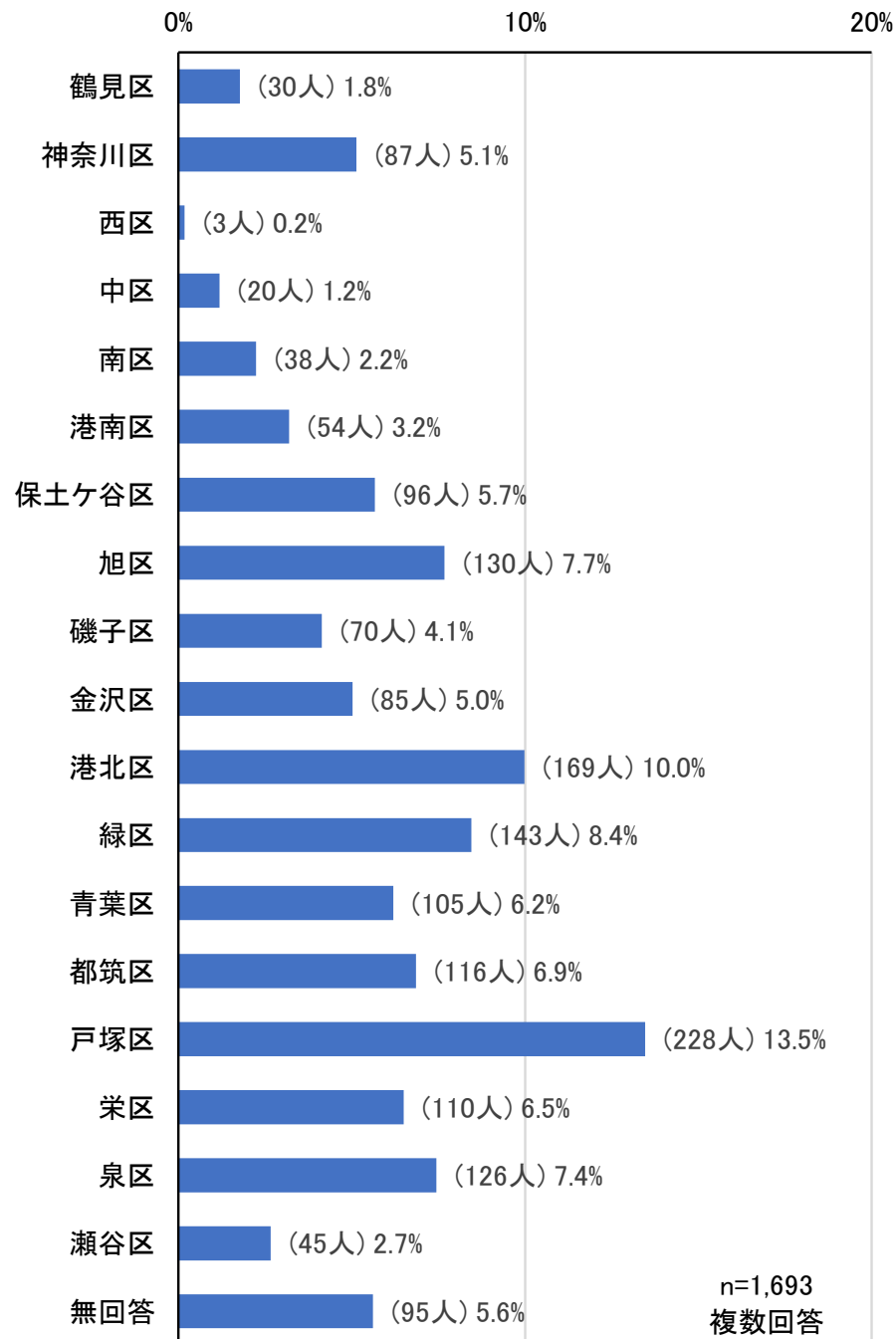
⑤

あなた（個人又は法人等）が所有する樹林地の合計面積はどのくらいですか。



⑥

所有する樹林地のある区すべてお答えください。【複数回答可】

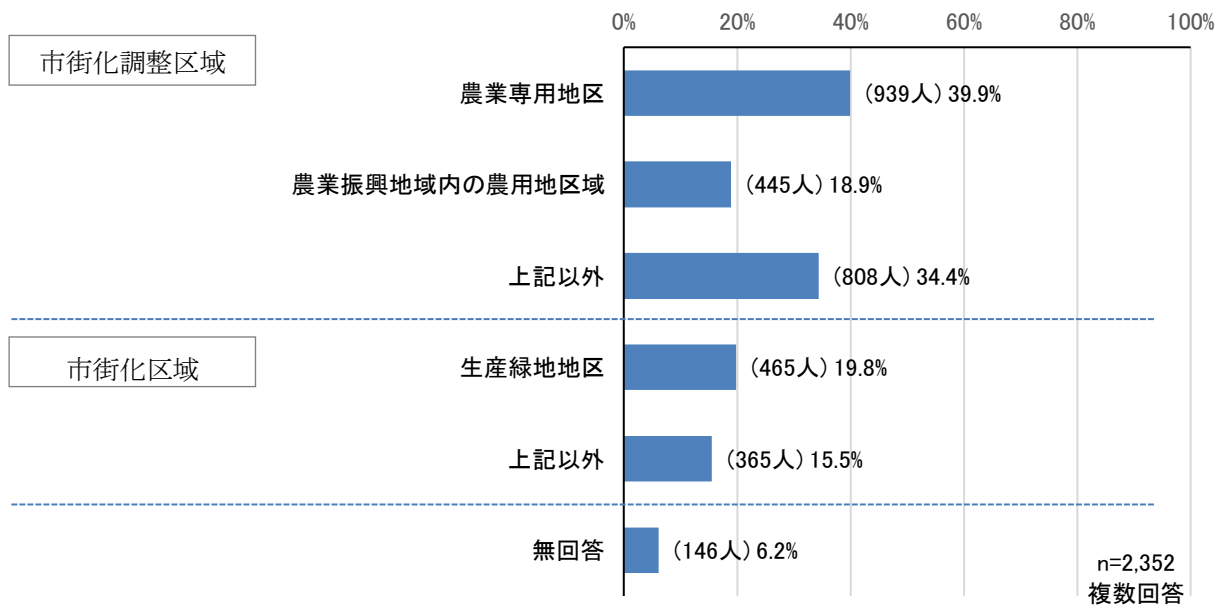


(2) 農地所有者

問 1

次の土地利用区分のうち、あなたが所有する農地が該当するものがありますか。
【複数回答可】

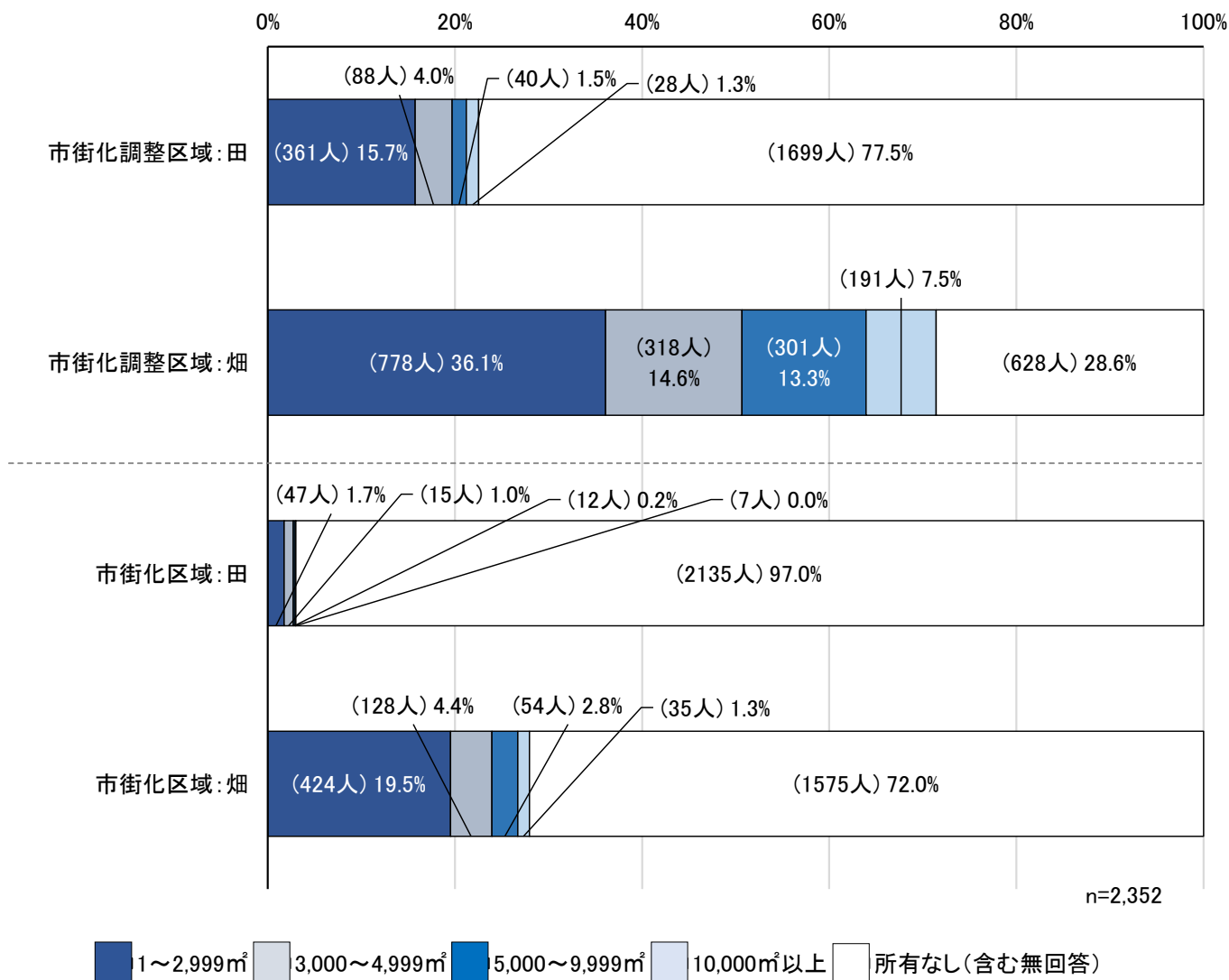
市街化調整区域内の「農業専用地区」が最も多い回答(約 40%)でした。



問2

あなたが所有する農地（地目：田、畑）の面積 および 所在地の区域について
お答えください。

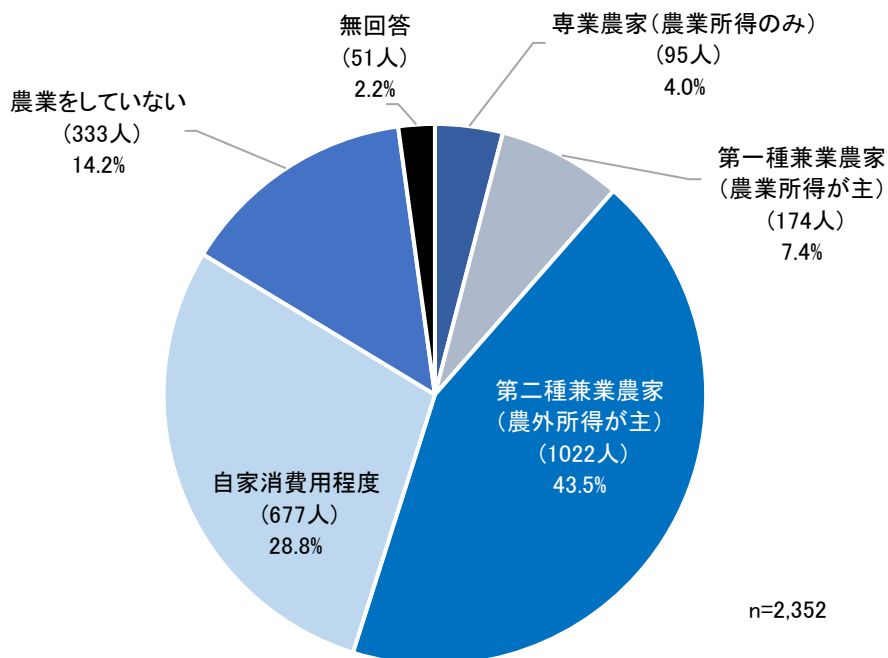
市街化調整区域に「～2,999 m²」の畑を持つ方が最も多い回答(約 36%)でした。



※「所有なし」と「無回答」を「所有無し（含む無回答）」として集計

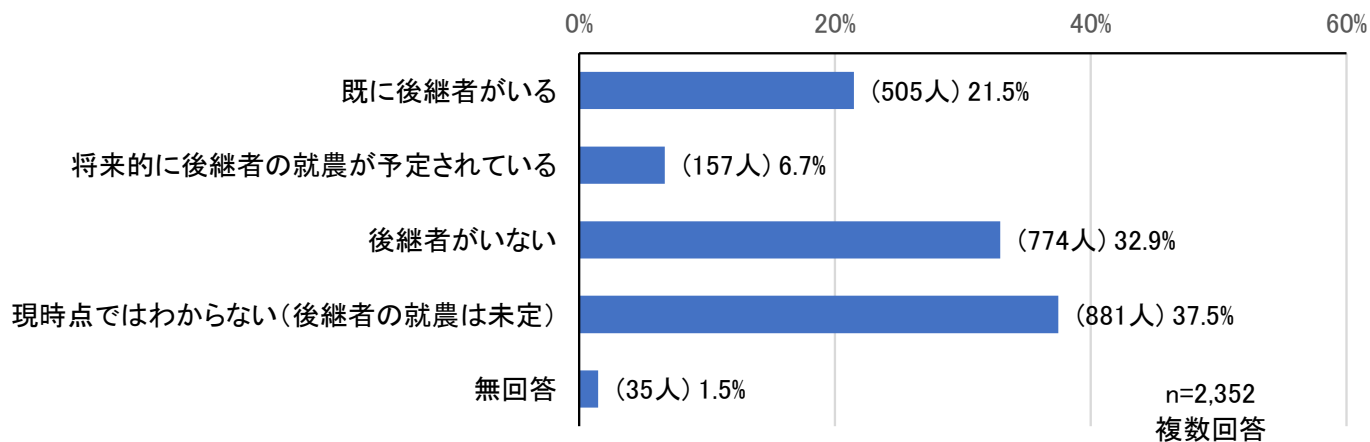
問3 あなたの農業経営の状況について、あてはまるものはどれですか。

「第二種兼業農家(農外所得が主)」が最も多い回答(約44%)でした。



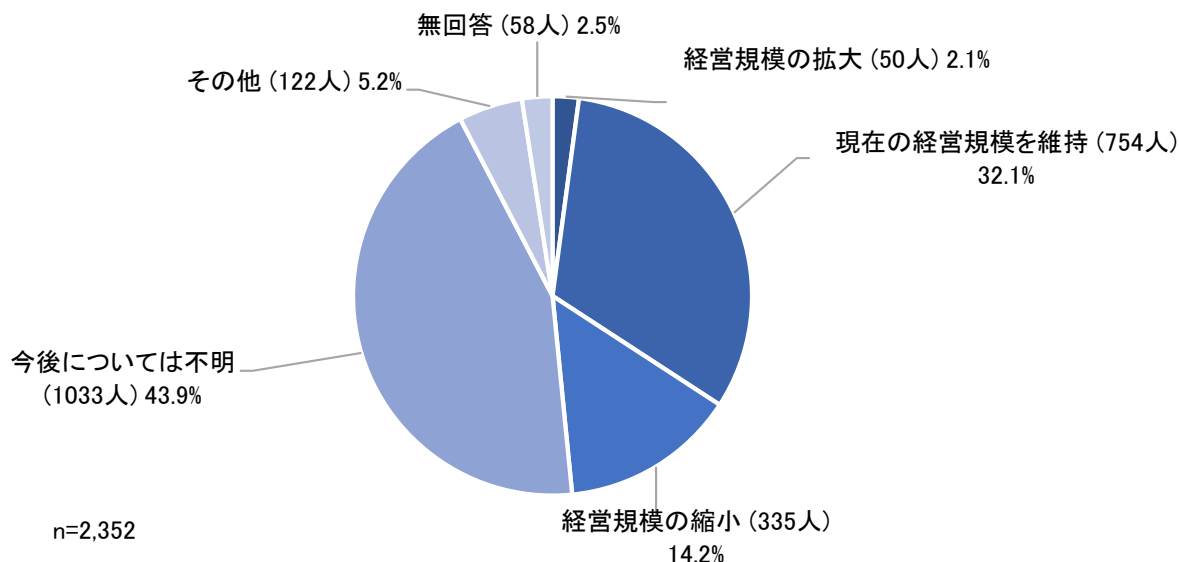
問4 あなたの農業後継者について、あてはまるものはどれですか。

「現時点ではわからない(後継者の就農は未定)」が最も多い回答(約38%)でした。



問5 あなたは、今後の経営規模についてどのようにお考えですか。

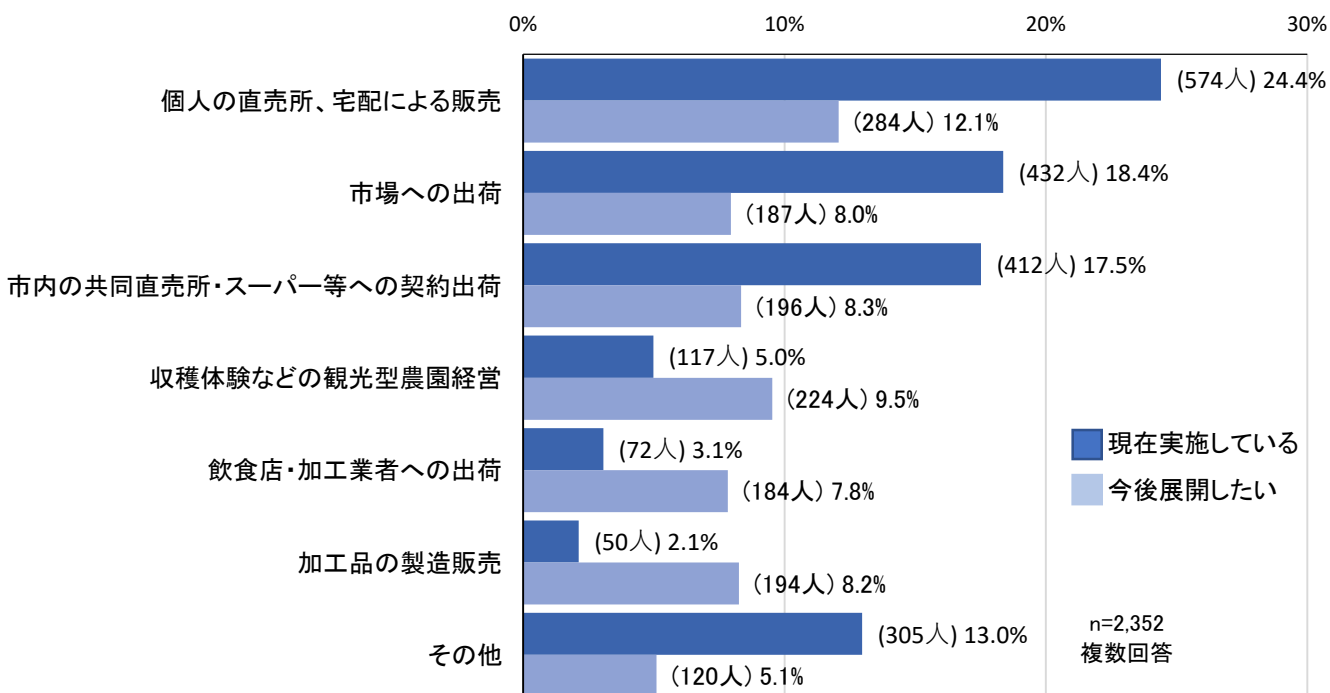
「今後については不明」が最も多い回答(約 44%)でした。



問6 あなたは、現在どのような農業経営をされていますか。また、今後、どのような農業を展開したいとお考えですか。 【複数回答可】

現在実施している農業経営は「個人の直売所、宅配による販売」が最も多い回答(約 24%)でした。

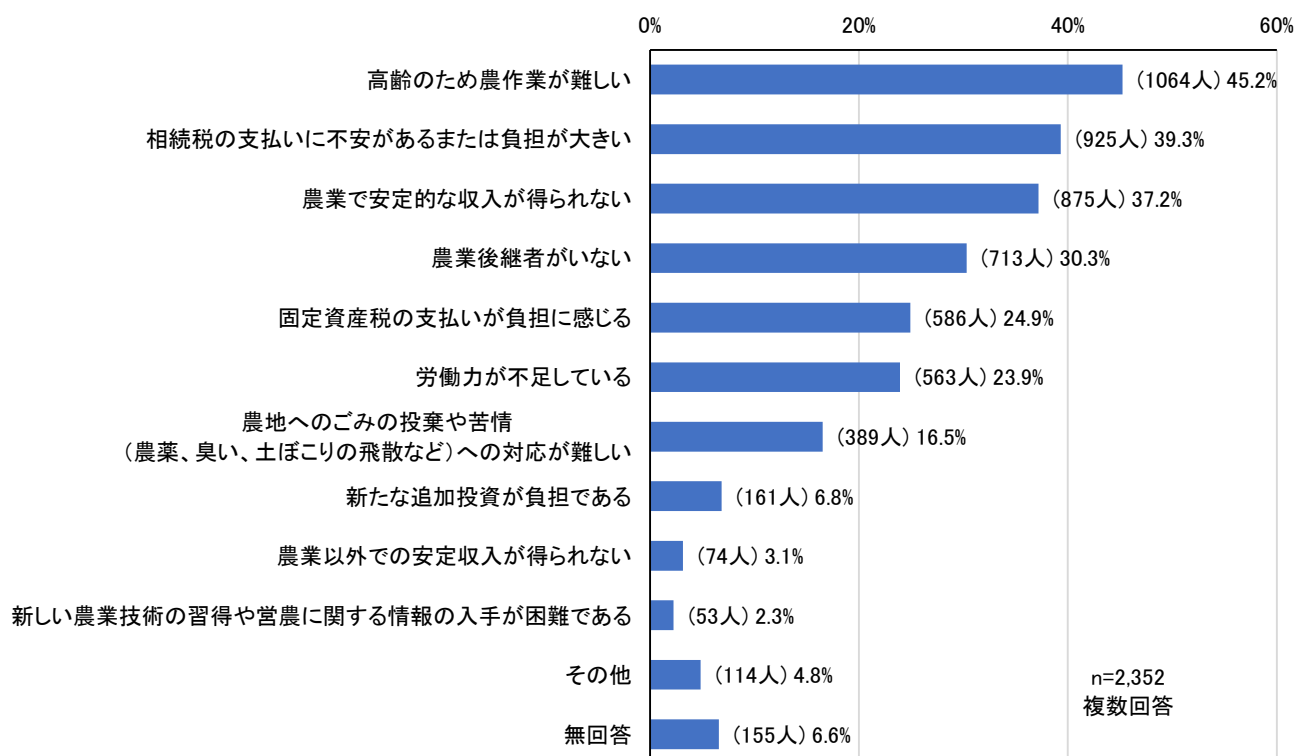
今後展開したい農業は「個人の直売所、宅配による販売」が最も多い回答(約 12%)でした。



問7

農地を所有し続けるうえで、あなたが特に課題と思うことは何ですか。
【3つまで回答可】

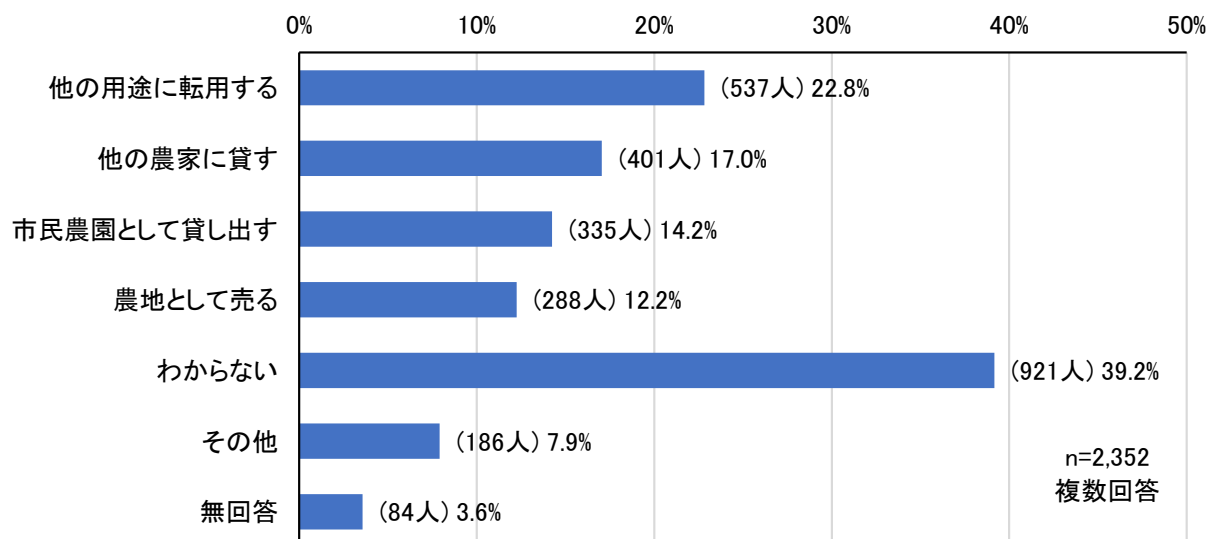
「高齢のため農作業が難しい」が最も多い回答(約45%)でした。



問8-1

あなた農業を続けていくことができなくなった場合、所有する農地はどのように管理しますか。 【複数回答可】

「わからない」が最も多い回答(約39%)でした。

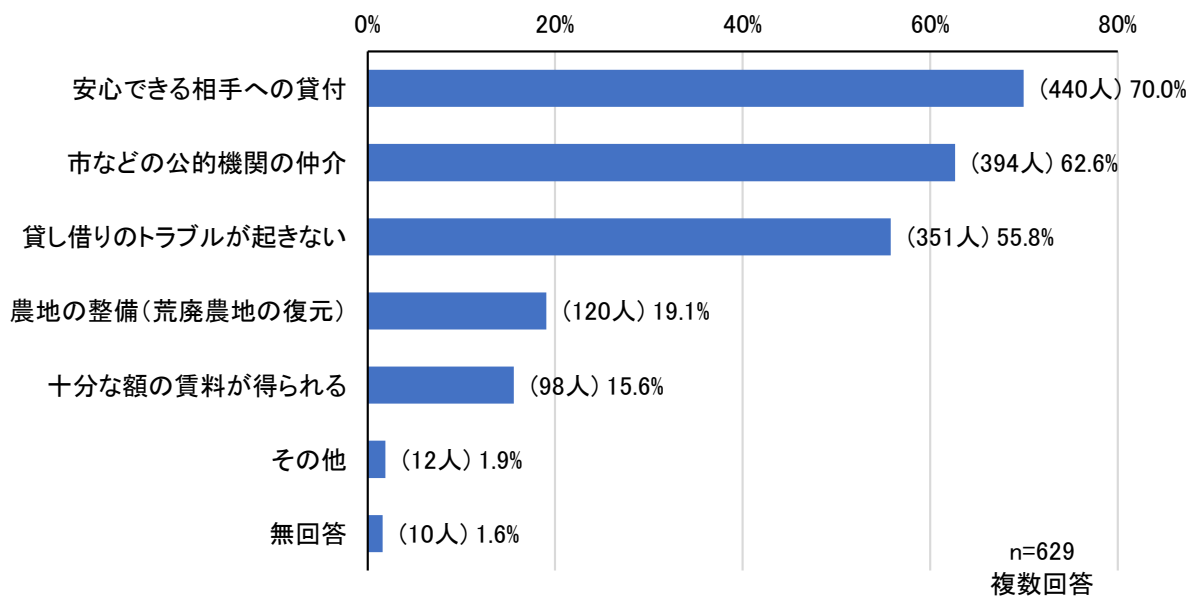


問 8-2

問 8-1 で『他の農家に貸す』『市民農園として貸し出す』と回答した方へお聞きします。

農地を貸す条件について、どのようにお考えですか。 【複数回答可】

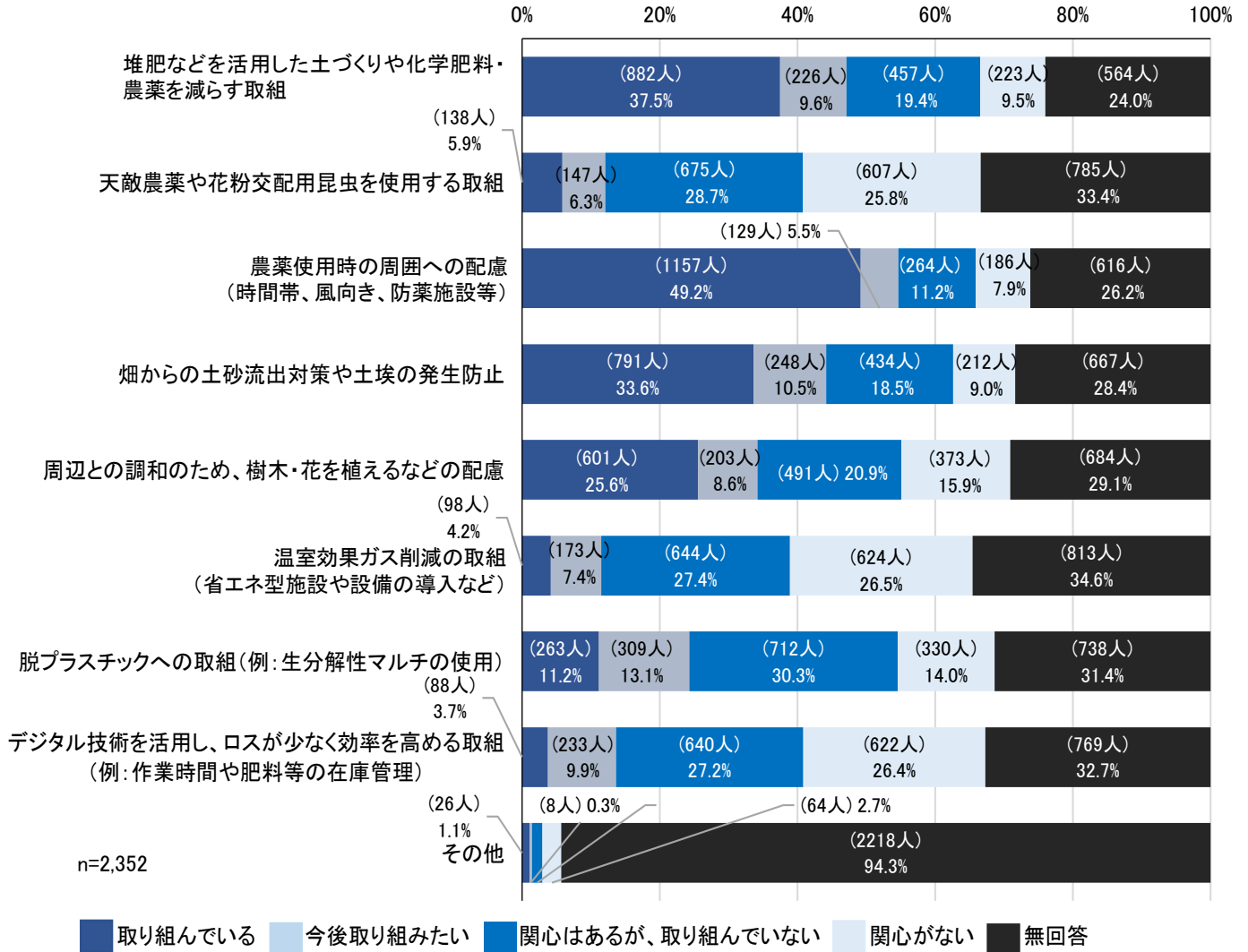
「安心できる相手への貸付」が最も多い回答(約 70%)でした。



問9

環境に配慮した農業の取組が広まりつつあります。
あなたが取り組んでいることや、今後取り組みたいことはありますか。

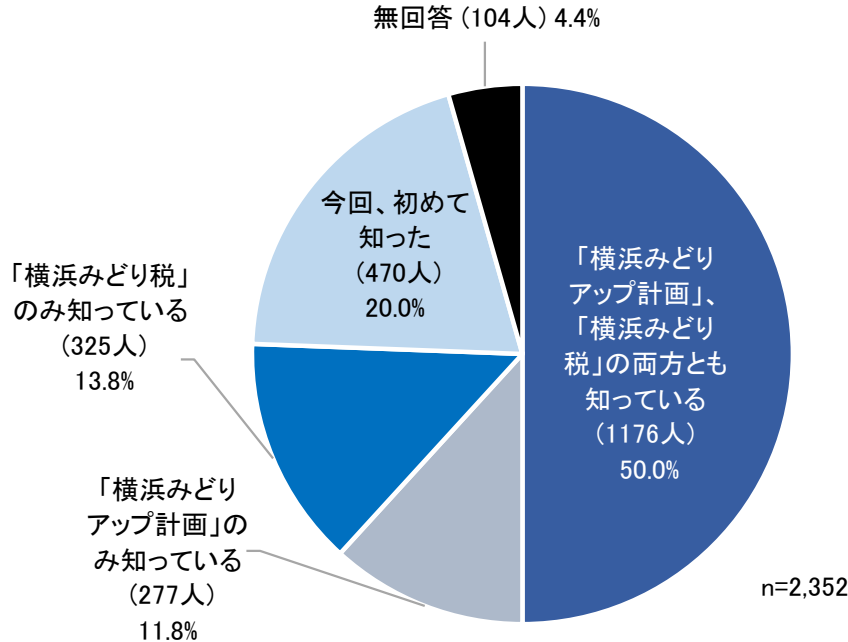
「取り組んでいる」ことでは、「農業使用時の周囲への配慮」が最も多い回答(約 49%)でした。また、「今後取り組みたい」ことでは、「脱プラスチックへの取組」が最も多い回答(約 13%)でした。



問 10

横浜市では、緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を一部財源として活用しながら、「横浜みどりアップ計画」を進めています。あなたはこのことについて知っていますか。

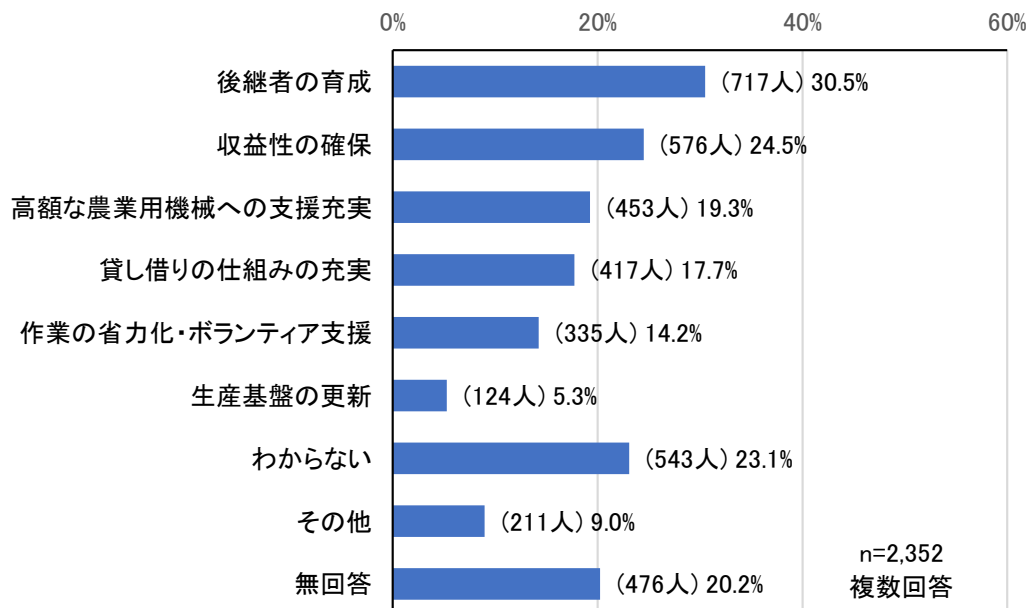
『「横浜みどりアップ計画」、「横浜みどり税」の両方とも知っている』が最も多い回答(約 50%)でした。



問 11

「横浜みどりアップ計画」では、横浜に残る貴重な水田景観の保全に取り組んでいます。水田を維持していくうえで、課題に感じることは何ですか。【複数回答可】

「後継者の育成」が最も多い回答(約 14%)でした。

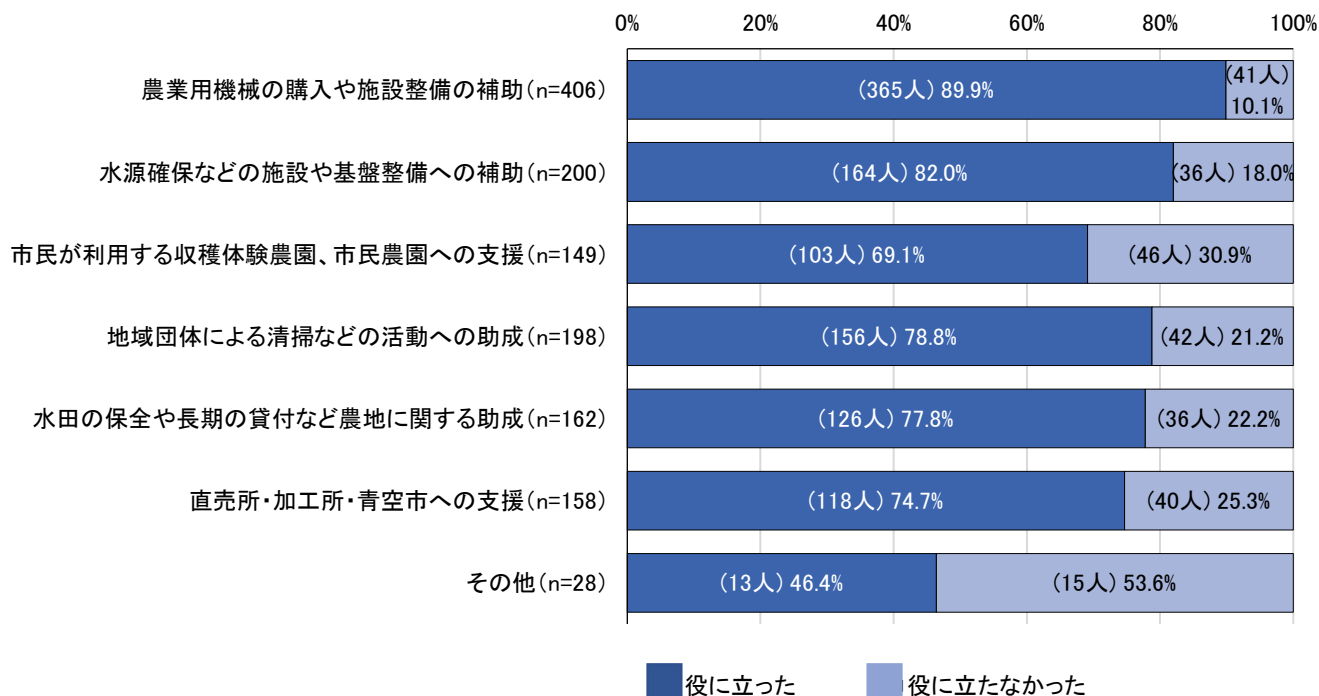


問 12-1

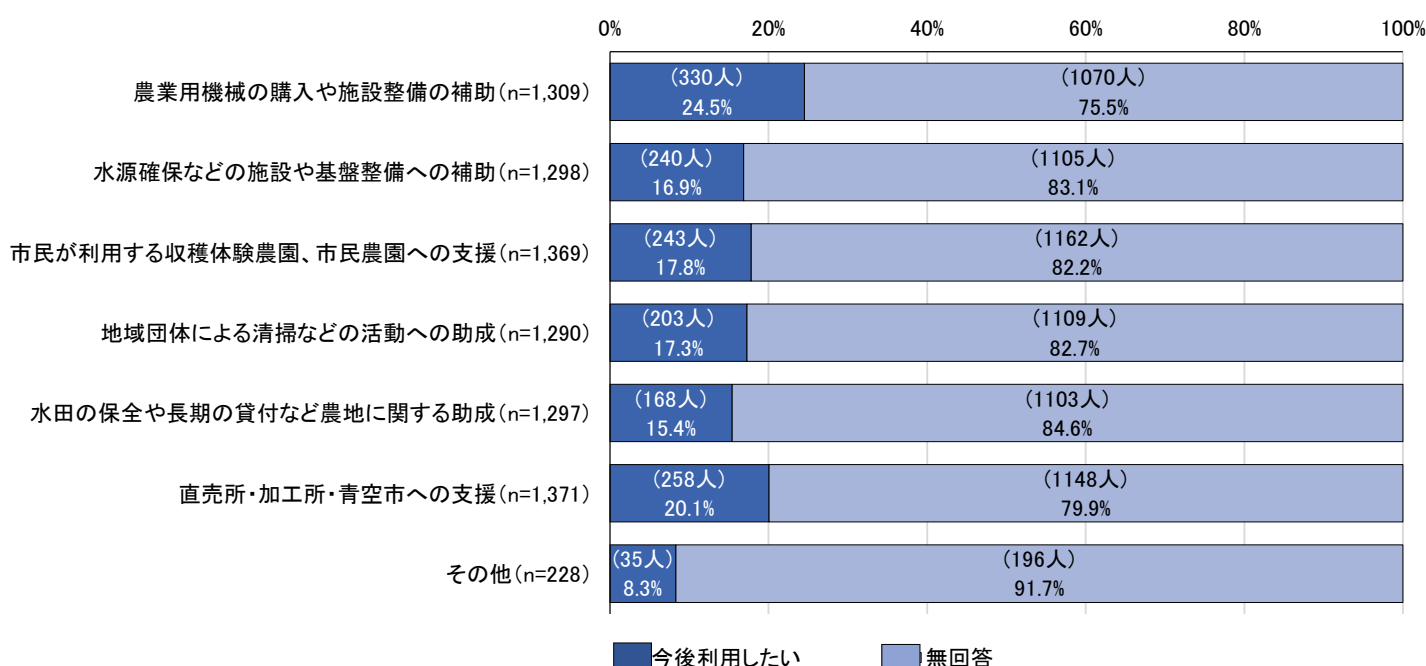
「横浜みどりアップ計画」の事業について、利用後の印象はどうでしたか。また、利用しなかった事業について、今後、利用したいですか。

事業を利用された方のうち、「農業用機械の購入や施設整備の補助」について最も多くの方が「役に立った」と回答(約 90%)しました。また、事業を利用しなかった方のうち、最も多くの方が「今後利用したい」と回答(約 25%)しています。

■ 事業を利用した方について 利用後の印象



■ 事業を利用しなかった方について 今後の利用意向

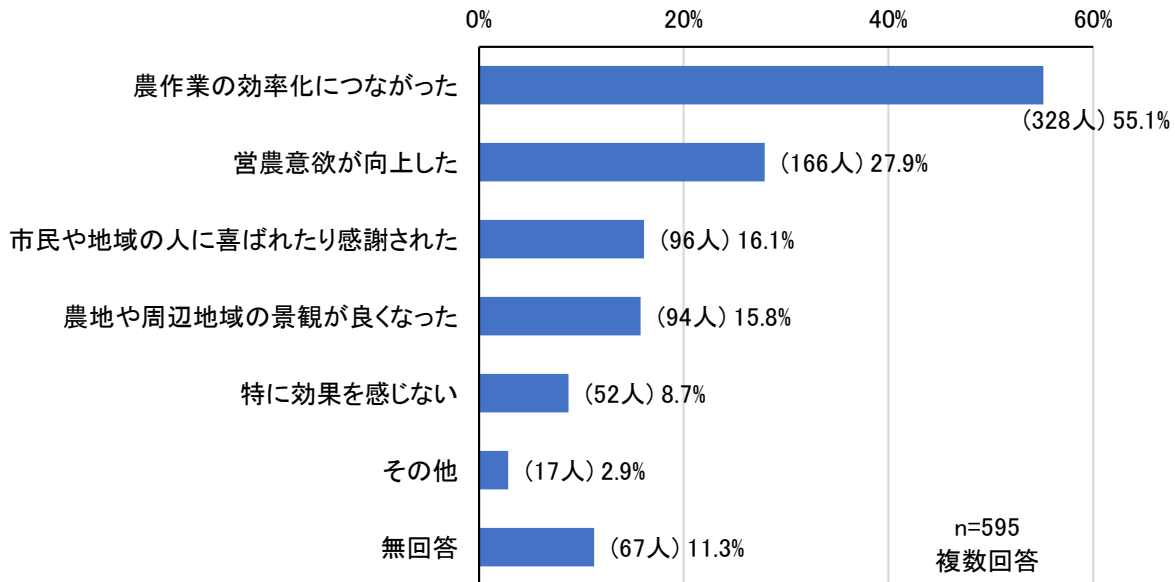


問 12-2

問 12-1 で、ひとつでも『役に立った』と回答した項目がある方へお聞きします。

事業を利用したことで、どのような効果がありましたか。 【複数回答可】

「農作業の効率化につながった」が最も多い回答(約 55%)でした。

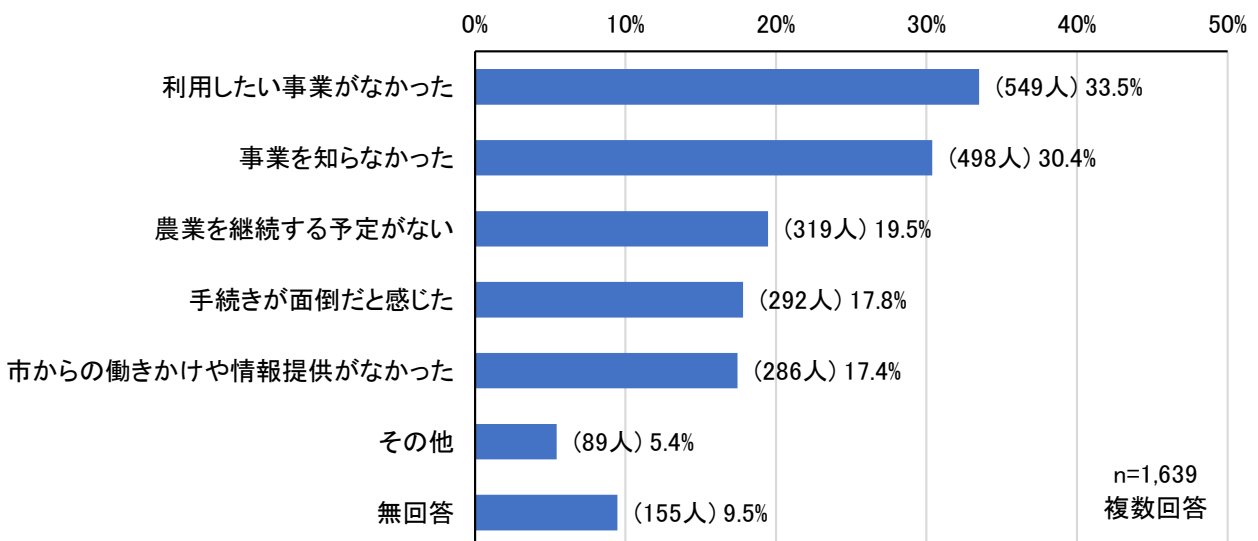


問 12-3

問 12-1 で、ひとつでも『利用しなかった』または『今後利用したい』と回答した項目がある方へお聞きします。

事業を利用しなかったのは、なぜですか。 【複数回答可】

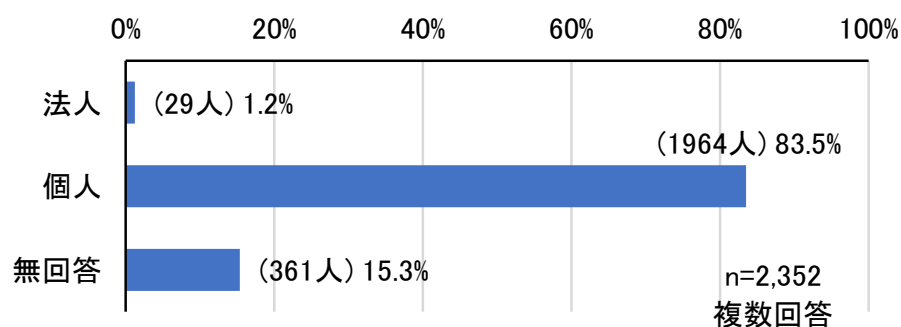
「利用したい事業がなかった」が最も多い回答(約 34%)でした。



回答者属性

①

個人・法人区分



②

□ 個人の方のみ

年齢

